

令和3年度コミュニティ・ヘルス研修会開催要綱
「緊急時の保健医療と地域住民参加型の保健活動」

1. 目的

地域住民参加型の保健活動に必要とされる知識の向上をはかり、今後地域保健事業への派遣を検討している国際救援・開発協力要員の育成に役立てる。

2. 目標

- ① 緊急および非緊急の状況下で、人々の健康状態の維持向上を目的として現地赤十字・赤新月社のスタッフと協同し支援を提供する方法を理解できる。
- ② ターゲット地域の選定、脆弱なグループ（5歳未満の子供、女性、高齢者など）の特定のニーズに留意し、活動の優先順位決定の仕方が理解できる。
- ③ コミュニティグループ（コミュニティリーダー、女性グループ、保健スタッフなど）や保健省、NGOs、UNsなどの利害関係者間の円滑なコーディネーションの実施方法が理解できる
- ④ 国際赤十字・赤新月社連盟（以下、連盟）やその他の国際的な機関が開発・報告している手法などを用いて根拠に基づく計画立案（予算含む）の仕方が理解できる。
- ⑤ 活動のモニタリング、評価の方法が理解できる。
- ⑥ 研修参加により自身の課題に気づき今後の知識向上に役立てることができる。

3. 研修日時

令和3年7月10日（土）9:00～17:00

4. 研修会場

オンライン開催 Zoom 使用予定 ※リンクは参加者決定の後お知らせいたします。

5. 研修対象者

以下の要件を満たす者

- ① 海外派遣経験者かつ地域保健活動への参画を希望する者でコミュニティ・ヘルス要員トレーニングレベル（別添 TOR_CH 要員トレーニー参照）
- ② PCM 研修参加歴のあることが望ましい
- ③ 平成30年度アドバンス編参加者は不可、平成30年度基礎研修参加者は可

6. 募集人数

10名程度 ※応募者多数の場合は、コミュニティ・ヘルス専門分野研究会で書類選考を行う。

7. 講師／ファシリテーター、スタッフ（※はコミュニティ・ヘルス専門分野研究会メンバー）

※日本赤十字社医療センター 看護部看護師長 兼 国際医療救援部 苫米地則子

※日本赤十字社医療センター 看護部 黒川寛子

※名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部看護師長 菅原直子

※大阪赤十字病院 看護係長 川瀬佐知子

※日本赤十字社和歌山医療センター 看護部 兼 国際医療救援部 小笠原佑子

※福岡赤十字病院 看護部看護師長 橋本香織

※熊本赤十字病院 看護部看護師長 兼 国際医療救援部 今村尚美

日本赤十字社 事業局国際部企画課研修係

8. 研修スケジュール

研修プログラム参照のこと

9. 使用言語

日本語 ※資料は英語含む

10. 事前課題

◎は必須、その他は可能な限り受講すること。

※連盟 Learning platform (<https://ifrc.csod.com/client/ifrc/default.aspx>) より実施（ただし、一部の e ラーニングは Adobe Flash Player のサービス終了等の関係でアクセスできない可能性あり）、または資料を読むこと。

◎ Introduction to eCBHFA

◎ Implementation guide for community based health and first aid (CBHFA) in action
https://www.rcrc-resilience-southeastasia.org/wp-content/uploads/2016/09/145600_Implementation-guide-CBHFA-in-action_en_LR.pdf

- Facilitator guide for community based health and first aid (CBHFA) in action
https://www.rcrc-resilience-southeastasia.org/wp-content/uploads/2016/09/145600_CBFA-FACILIT-VOL2-LR.pdf
- Epidemic Control for Volunteers Training Manual (e-learning またはマニュアル)
<http://www.ifrc.org/Global/Publications/Health/epidemic-control-en.pdf>

◎ Project/Programme Planning (PPP) Guidance manual

<https://preparecenter.org/sites/default/files/ppp-guidance-manual-english.pdf>

- Non-communicable Diseases in Humanitarian Settings

◎ Introduction to Monitoring and Evaluation

◎ Monitoring and Evaluation Planning eTraining

◎ Secondary Data Review and Analysis

- Menstrual Hygiene Management
- Community Based surveillance guiding principles

◎ Introduction to Monitoring & Evaluation

◎ Monitoring & Evaluation planning eTraining

◎ Complete Planning Monitoring Evaluation and Reporting (PMER) Toolkit for Community Based Health and First Aid

<https://www.rcrc-resilience-southeastasia.org/wp-content/uploads/2016/09/145600-CBFA-FACILIT-VOL2-LR.pdf>

- Public Health – Module 1: Introduction
 - Public Health – Module 2: Epidemiology
 - Public Health – Module 3: Prioritizing Health Responses
 - Public Health – Module 4: Household Water Treatment and Safe Storage
 - Public Health – Module 5: Rapid Health Assessment
 - Public Health: Mental Health and Psychosocial Support
 - Public Health: Nuclear Emergency Preparedness
- ◎ 8 Steps for Hygiene Promotion in Emergencies
- Community Engagement and Accountability in disaster and crisis
- ◎ Emergency Needs Assessment

11. 申込み・問い合わせ

別紙様式により、令和3年5月28日（金）までに、名古屋第二赤十字病院国際医療救援部担当者安部（moeka0630@nagoya2.jrc.or.jp）あて電子メールにて送付すること。

12. その他

- ① オンライン研修の参加に必要なインターネット環境は各自で確保すること。
- ② 研修参加時は一人一台デバイスを用意して接続すること。なお、より効果的に参加できるようパソコンからの接続を推奨すること。
- ③ ウェブカメラを利用できること。

【研修プログラム】

時間	所要	内容	担当
09:00~09:20	20分	オープニングリマーク 自己紹介	総合司会： 黒川
09:20~10:00	40分	シナリオ説明 グループワーク：情報収集、アセスメント 発表：各グループ3分以内	川瀬
10:00~11:00	60分	講義：情報収集とアセスメント	川瀬
11:00~11:10	10分	休憩	
11:10~11:50	40分	グループワーク：計画立案 発表：各グループ3分以内	今村
11:50~12:50	60分	講義：計画立案、災害時の公衆衛生・地域参加型保健活動事業	菅原／今村
12:50~13:40	50分	昼食	
13:40~14:40	60分	CBHFAマニュアルの活用	小笠原
14:40~15:20	40分	グループワーク：モニタリング、評価計画	橋本
15:20~15:30	10分	休憩	
15:30~16:30	60分	講義：調査実施方法	苦米地／橋本
16:30~17:00	30分	質疑応答、振り返り、アンケート記入 クロージングリマーク	黒川